

私たちが望むまちの将来の姿

文化薫るまち・会津

会津の歴史・文化から学び、生き生きとした誇りを持った人の住むまちにするために、男女ともに輝いて生きる拠点や、図書館のあるまちになってほしい。

私たちの想い

- ・古い歴史の情感ゆたかな
- ・歴史や文化を学び皆が案内人
- ・郷土に誇りを持てる
- ・子供に伝統を教える
- ・古い因習にとらわれない
- ・男女とも輝いて生きられる

そんな会津若松市になってほしい。

魅力あふれる会津人

男女・お互いを尊重するまち。
心を開いて語り合えるまち。
思いやりのあるまち。
子供を健全に育てるまち。
郷土に誇りを持ち、あたたかな会津弁を伝えるまち。

私たちの想い

- ・誰の意見も聴き自分の意見ものびのび言える
- ・男女が互いに尊重
- ・青少年の犯罪を減らし、誇りを持ち帰ってあたたかな会津弁を伝える人のいる

そんな会津若松市になってほしい。



あたたかい故郷・会津

緑あふれゆったりした自然環境の中で、活気ある市街地と、雪などでも安心して暮せるまちであってほしい。

私たちの想い

- ・緑あふれる
- ・ゆったりした自然環境の中で
- ・活気ある
- ・雪などでも安心して暮らせる

そんな会津若松市になってほしい。

政策の柱 2：教育文化

～豊かな心と個性を育むまち～

政策 2-1 誰もが生涯にわたり学習できるまちをつくる

- 基本施策 2-1-1 生涯学習活動を支援・促進する
- 基本施策 2-1-2 学ぶ場を整備する
- 基本施策 2-1-3 高等教育機関との連携を強化する

政策 2-2 豊かな心と確かな学力を身につけた子どもを育むまちをつくる

- 基本施策 2-2-1 教育環境を充実する
- 基本施策 2-2-2 特色ある学校づくりを推進する
- 基本施策 2-2-3 思いやりの心を持った青少年を育成する

政策 2-3 スポーツ・レクリエーションが盛んなまちをつくる

- 基本施策 2-3-1 スポーツ・レクリエーションを振興する

政策 2-4 歴史・文化を守り育てるまちをつくる

- 基本施策 2-4-1 歴史・文化を継承し文化活動を振興する



基本施策 2-1-1 生涯学習活動を支援・促進する

目標設定の背景

- 近年の高齢社会の進行や、ライフスタイルの多様化、価値観の変化や余暇時間の増大のなか、市民の学習意欲が増大しています。
- 自己の持つ学習成果をまちづくりにいかしたいと考える人が多くなっており、生涯学習活動を支援・促進することは重要になってきています。
- 生涯学習に対する市民ニーズに適切に対応するため、学習機会や学習情報の提供に加え、市民や各種団体との連携と協働の体制の強化が求められています。

目 標

- 誰もが学びたいときに自由に学ぶことができ、また学びたい学習情報を容易に得ることができる環境づくりを推進します。

目標達成のための方針

- 各関係機関や団体等が実施する学習情報を収集し、市民の自主的な学習活動に役立つ情報を提供する仕組みを充実します。
- 学習成果をボランティア活動などで地域に還元できるよう、人材に関する情報を収集するとともに、それらの情報の利用を希望する市民の要望に応じて提供します。
- 社会教育団体への支援をはじめとする推進体制の強化、地域の活性化につながる社会教育活動の推進など社会教育の充実を図ります。
- 関係機関や関係団体、高等教育機関、さらには民間教育団体等とのネットワークを強化します。

施策の体系

学習活動の支援・促進

社会教育活動の充実

公民館活動の充実

図書館事業の充実

主な内容

- 生涯学習に関するネットワークの充実
- 社会教育指導員等による推進体制の充実
- 青少年教育活動の充実
- 子育て学習への支援
- いにしえと夢の森※を活用した学習活動の促進

○地区ごとの特色ある事業の充実

○各種講座・おはなし会の充実

主な指標

指標名	現状値(基準時)	目標値(H28)
生涯学習指導者登録者数	107人(H17)	300人
公民館活動に参加している市民の割合(主催・共催事業等参加者数/人口)	18.4%(H17)	20.2%



いつでも学び続ける



基本施策 2-1-2 学ぶ場を整備する

目標設定の背景

- 生涯学習社会に対応し、高度化、多様化する市民の学習活動に応えるため、拠点となる学習の場の整備が求められています。
- 学習の場として活用されている社会教育施設、社会体育施設、文化芸術施設、コミュニティ施設は、それぞれの目的で設置・運営されています。
- 既存の社会教育の施設については、適切な維持管理を行うとともに、施設間の有機的なネットワークを確立し、効果的・効率的な利活用を図っていく必要があります。

目 標

- 生涯学習社会に対応した多様な学習機会が確保され、市民の誰もが、自由に楽しみながら学べる環境が整備された社会の実現をめざします。

目標達成のための方針

- (仮称)生涯学習総合センターについては、関係機関等とのネットワークの中核機能を担う施設として整備を推進します。
- 生涯学習関連施設は、それぞれの固有の目的を踏まえ、適切な役割分担を図りながらネットワークを強化し、効果的な利活用を図ります。
- 公民館については、適切な維持管理を行うとともに、施設の整備・充実を図ります。

施策の体系

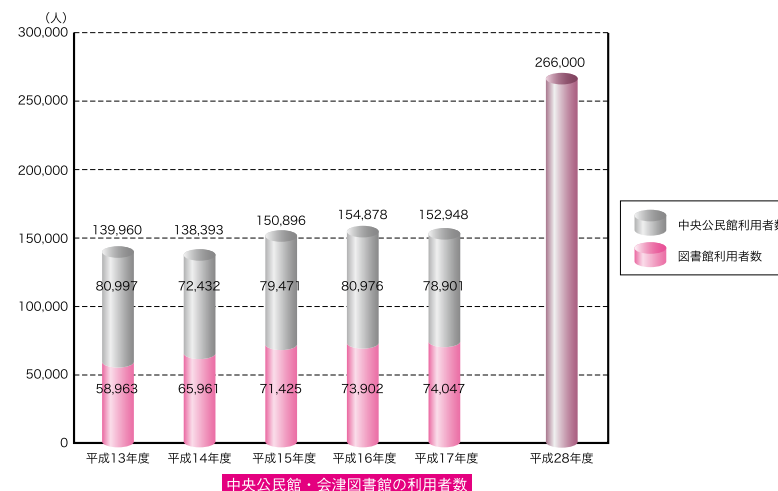
社会教育施設等の整備
充実

主な内容

- (仮称)生涯学習総合センターの整備
- 北会津地区公民館の整備
- 地区公民館の整備充実
- 生涯学習関連施設間のネットワークの強化
- 青少年施設の適正な維持管理

主な指標

指標名	現状値(基準時)	目標値(H28)
中央公民館・会津図書館の利用者数(年間・延べ人数)	152,948人(H17)	266,000人





基本施策 2-1-3 高等教育機関との連携を強化する

目標設定の背景

- 会津大学は、開学以来多くの人材を輩出するなど、本市の発展に大きく貢献し、現在も重要な役割を担っています。
- 会津大学は、平成18年4月より独立行政法人となったことにより、これまで以上に運営の効率化や地域への貢献をめざしています。

目 標

- 会津大学との連携を強化し、教育・文化の振興を図ります。
- 多様化・高度化している市民の学習ニーズに応えることで、市民一人ひとりが自主的・自発的に学ぶことの出来る生涯学習社会の実現を図ります。
- 地域における高等教育機関の充実を図ります。

目標達成のための方針

- 会津大学のコンピュータ教育や英語教育のノウハウ及び教育施設・設備を活用して、情報化・国際化に対応できる人材を育成します。
- 会津大学の保有する資産を有効に活用しながら、地域との連携を強化します。
- 地域における高等教育機関を充実させていくため、新たな高等教育機関の誘致に取り組みます。

施策の体系

高等教育機関との連携の強化

主な内容

- 会津大学コンピュータ理工学部との連携による地域情報化・国際化の推進
- 会津大学短期大学部との連携による地域活性化の推進
- 会津大学と市民との交流促進
- 会津大学と地域社会との仲介機能の充実
- 各種専門学校における人材の育成

高等教育機関の充実

- 新たな高等教育機関の誘致

主な指標

指標名	現状値(基準時)	目標値(H28)
コミュニティカレッジ*修了者の就職率(就職者数/修了者数)	58.2%(H17)	100.0%



高度情報社会に向けて



基本施策 2-2-1 教育環境を充実する

目標設定の背景

- 学校施設の中には、老朽化した施設や耐震補強等の必要な施設があります。
- 経済的な理由により教育を受けることが困難な児童生徒の保護者に対して、教育の機会均等を図るための支援が必要です。
- 運動能力の低下や食生活の乱れ、生活習慣病の低年齢化、ストレスの増大などの問題を抱えている子どもが見られ、心身の健康増進を図る必要があります。
- 多様な保育ニーズなどに対応する幼児教育活動・教育環境の充実が求められています。

目 標

- 児童生徒が安全で安心して学校生活を送ることができる環境を整備します。
- 多様な活動に柔軟に対応できる質の高い学習空間づくりを推進します。
- 教育、就学の機会均等を図り、有為な人材の育成を図ります。
- 園児・児童・生徒の健康・体力増進を図ります。
- 幼児期の適切な教育環境を整備します。

目標達成のための方針

- 老朽化の著しい学校施設の建替えを行うとともに、耐震診断の結果、改築又は補強が必要と判断される施設について、段階的に整備します。
- グラウンド等の屋外教育環境を整備し、施設の適切な維持管理を図ります。
- 教育活動への支援や就学援助を推進します。
- 健康診断・予防教育の充実などにより、健康・体力づくりを推進するとともに、学校給食における食器の改善などの食環境の整備や完全給食未実施校の解消を図ります。
- 幼稚園教育の充実を図るために、統合幼稚園を整備します。
- 私立幼稚園・学校については、教育環境の向上が図られるよう支援します。

施策の体系

学校施設の整備充実

主な内容

- 幼稚園・小中学校の適正な維持管理
- 北会津地区統合幼稚園の整備
- 鶴城小学校の改築
- 行仁小学校の改築
- 北会津中学校の改築
- 河東学園の整備
- 学校施設の耐震補強
- 屋外教育環境の整備

就学支援の推進

- 就学援助対象者への支援
- 遠距離通学への支援

学校保健・体育活動の支援

- 健康診断の実施
- 体育活動への支援

学校給食の充実

- (仮称)会津若松学校給食センターの整備
- 学校給食施設・設備の充実
- 食器の改善
- 食に関する教育の推進

幼児教育の充実

- 幼稚園の教育活動及び教育環境の充実

私立学校等の振興

- 私立幼稚園への支援
- 特色ある学校づくりへの支援

主な指標

指標名	現状値(基準時)	目標値(H28)
公立小中学校の耐震化率 (耐震基準を満たす棟数/全棟数)	49.6%(H17)	87.2%

序論

基本構想

基本計画

重点政策

基本政策

福祉健康

教育文化

産業経済

生活環境

都市基盤

協働参画

計画推進

地域別将来展望

附属資料



基本施策 2-2-2 特色ある学校づくりを推進する

目標設定の背景

- これからの義務教育においては、国際化、高度情報化などの社会の変化に主体的・創造的に対応できる子どもを育むことが求められています。
- 「自ら学び自ら考える力」や「豊かな人間性」などの「生きる力」を育むことが求められています。
- ノーマライゼーション※の理念に基づき、障がいのある児童生徒の視点に立って、一人ひとりのニーズを把握し、必要な教育的支援を充実することが求められています。
- 子どもたちを健全に育成するため、学校・家庭・地域社会が連携し、それぞれの役割を果たしながら、一体となって開かれた学校づくりを進めることが求められています。

目 標

- 確かな学力を身につけた児童生徒を育みます。
- 21世紀をたくましく生きるために、国際社会や高度情報社会の中で積極的に活動できる子どもを育みます。
- 学校・保護者・地域と連携を図りながら、開かれた学校づくりへの取り組みを推進するとともに、児童生徒の安全・安心な生活を確保します。
- 一人ひとりの個性の伸長を図り、豊かな心を育みます。

目標達成のための方針

- 確かな学力を育成するため、小中学校ごとの課題を明確にし、学力向上の計画・実践・評価・改善を推進します。
- 総合的な学習の時間や特別活動等において、地域や学校、さらには子どもたちの実態に応じて、創意工夫をいかした特色ある教育活動を推進します。
- 特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対しては、学校、家庭、医療機関、スクールカウンセラー※等との連携を強化し、指導方法の充実を図ります。
- 地域の考えを学校運営に積極的に取り入れます。
- 保護者や学校ボランティア等と連携し、児童生徒の安全・安心な生活を確保します。
- 郷土の自然や歴史、文化を学ぶ教育を推進します。

施策の体系

主な内容

確かな学力と豊かな心の育成

- 確かな学力の育成
- 少人数学級の編制
- 総合的な学習への支援
- スクールカウンセラー※制度の充実

国際化教育・情報化教育の推進

- 教育用コンピュータの整備
- 英語指導外国人青年による英語教育の推進
- ITを活用した教育の推進

障がいのある子どもの教育の充実

- 相談及び指導の充実
- 教育支援体制の充実

地域に開かれた学校づくりの推進

- 児童生徒安全対策の充実
- 学校評議員制※の充実
- 学校評価の充実

地域の特色を学ぶ教育の推進

- 郷土に関する副読本の活用

主な指標

指標名	現状値(基準時)	目標値(H28)
「学校が好きな児童生徒」の割合 (「学校が好き」と答えた児童生徒の数/回答総数)	-	100.0%
全国学力平均との比較値 (本市の学力平均値/全国の学力平均値×100)	※平成19年度より実施	100.0以上

序論

基本構想

基本計画

重点政策

基本政策

福祉健康

教育文化

産業経済

生活環境

都市基盤

協働参画

計画推進

地域別将来展望

附属資料



基本施策 2-2-3 思いやりの心をもった青少年を育成する

目標設定の背景

- 近年の情報化社会の進展等によるめまぐるしい社会経済環境の変化は、青少年の意識や行動、人間関係の形成に大きな影響を与えています。
- 核家族化や少子化の進行、さらには共働き世帯の増加などによる影響で、家庭教育機能の低下が顕在化しています。
- 学校では、協調性・社会性を育むとともに、個性をいかす教育を推進していますが、依然として、いじめや不登校などの様々な問題が生じています。
- 地域社会においては、帰属意識や連帯感が希薄になり、地域の青少年は地域で育むといった意識や活動への関心が薄れ、地域において青少年を見守り、指導する機能が低下しつつあります。

目 標

- 思いやりの心を持ち、心身ともにたくましく主体的に行動できる資質や能力を身につけた、心豊かな青少年の育成を図ります。
- 夢や希望を抱き、自己の個性や能力を伸ばし、創造性にあふれた青少年の育成を図ります。
- 自分自身を大切にするとともに、社会規範を守り、他者の立場に立って考え、行動できる青少年の育成を図ります。

目標達成のための方針

- 関係機関との連携を図りながら、青少年健全育成のより一層の充実を図ります。
- 市民一人ひとりが次代を担う青少年の育成を自らの課題と捉え、家庭、学校、地域、関係機関等がそれぞれの役割に応じ、協調、連携して青少年の健全育成を図ります。

施策の体系

青少年の健全育成

主な内容

- 青少年の心を育てる市民行動プラン「あいづっこ宣言」の普及啓発
- 青少年育成市民会議など関係機関との連携による青少年非行の防止

主な指標

指標名	現状値(基準時)	目標値(H28)
あいづっこ宣言の認識度 (宣言を見聞きしたことのある児童の数 /小学5年生児童アンケート調査数 (市内各校1クラス))	96.7%(H16)	100.0%
あいづっこ宣言の実践度 (宣言の内容を実践している児童の数 /小学5年生児童アンケート調査数 (市内各校1クラス))	61.5%(H16)	100.0%
少年非行の割合(1,000人当たり)	12.1人(H17)	8.8人



「あいづっこ宣言」



基本施策 2-3-1 スポーツ・レクリエーションを振興する

目標設定の背景

- 近年、健康増進や体力づくり、または余暇活動の一環として、スポーツに対する市民意識は高まる傾向にあり、スポーツの果たす役割は大きくなっています。
- 中核的なスポーツ施設の整備とともに、誰もが気軽に参加できるスポーツイベントや教室の開催、指導者の育成などスポーツ環境の充実が求められています。

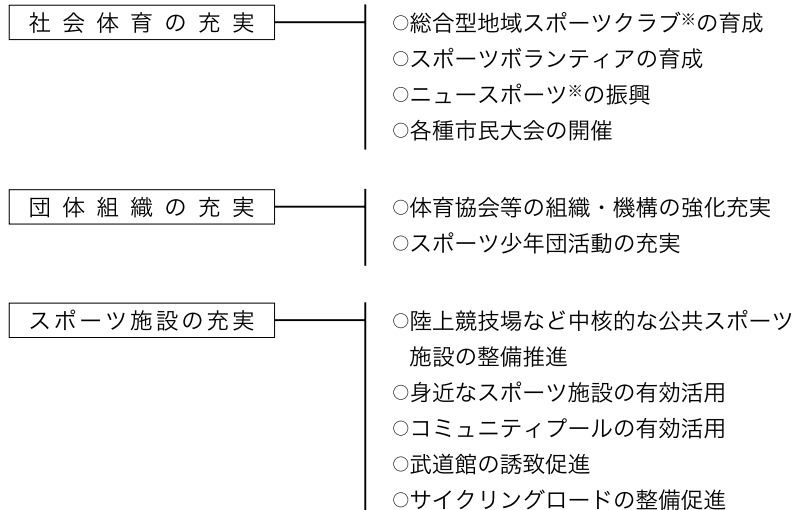
目 標

- 暮らしのなかでスポーツが生活の一部として取り入れられ、いつでも、どこでも、誰もが、スポーツに親しめるような環境整備と仕組みづくりを推進します。
- 健康スポーツ都市宣言に基づき、精神的な豊かさと健康的な生活をもたらす「市民総スポーツ」をめざします。

目標達成のための方針

- 市民の多様なスポーツ活動の充実を図ります。
- スポーツ環境の整備充実を図ります。
- 住民主導型のスポーツクラブを育成します。
- 関係団体との連携を図り、市民の誰もが気軽にスポーツに親しめるような体制づくりを推進します。

施策の体系



主な内容

主な指標

指標名	現状値(基準時)	目標値(H28)
スポーツ施設利用者数 (年間・延べ人数)	604,010人(H17)	1,000,000人
総合型地域スポーツクラブの設立数	1団体(H17)	5団体



ほら、お父さん、頑張って走ろう



基本施策 2-4-1 歴史・文化を継承し文化活動を振興する

目標設定の背景

- 本市では、会津地方の文化の中心として、様々な文化活動が行われており、成果発表の場と鑑賞の機会の充実が求められています。
- 市内には、史跡若松城跡や名勝会津松平氏庭園等の国・県・市指定文化財が数多く存在し、観光の拠点や市民の学習や散策の場にもなるなど、多面的要素を有しています。
- 文化財は長い歳月を経過することにより、老朽化による破損を生じやすいことから、後世に引き継ぐための保存整備が必要です。

目 標

- 幅広い芸術文化活動の一層の活性化を促進し、芸術文化の振興を図ります。
- 史跡、名勝、天然記念物等の保存整備を行うことにより、市民共有の文化遺産としての価値を高めるとともに、観光資源としての活用を図り、後世に継承します。
- 本市の誇るべき歴史と伝統を次の世代に継承します。

目標達成のための方針

- 各種芸術文化の成果発表の機会の充実と美術作品の制作活動の促進を図ります。
- 質の高い芸術作品・舞台芸術の鑑賞機会の充実を図ります。
- 郷土に関する様々な調査・研究を奨励します。
- 地域を代表する貴重な文化財や、史跡、名勝、天然記念物などの指定文化財について、保存整備を図るとともに、学習や散策の場として利活用できるよう整備を推進します。
- 埋蔵文化財保護のための分布調査・試掘調査や、主要な遺跡の保護・保存を図ります。
- 小中学生の体験学習による郷土学習の場や文化財講座などを設け、文化財保護への理解促進を図ります。
- 計画に基づき市史を編さん刊行するとともに、優れた先人の遺産・業績を紹介し、郷土への誇りや歴史と伝統の理解促進を図ります。

施策の体系

文化活動の振興

主な内容

- 多様な芸術文化・美術品を鑑賞する環境の充実
- 文化団体への支援・協力
- 郷土研究の奨励
- 公民館・学校を活用した美術展の開催
- 市民文化祭・地域文化祭の充実
- 会津彼岸獅子・空也念仏踊り等の民俗芸能の保存

史跡・名勝及び天然記念物等の保存・整備

- 史跡若松城跡の保存整備
- 史跡会津藩主松平家墓所の保存整備
- 名勝会津松平氏庭園の保存整備
- 天然記念物赤井谷地沼野植物群落の保存整備
- 史跡旧会津藩大窪山共同墓地の保存整備
- 一箕古代遺跡群の保存整備
- 史跡大戸古窯跡群の保存整備
- 郡山遺跡の保存整備
- 建造物八葉寺阿弥陀堂・延命寺地藏堂等の文化財の保存
- 天然記念物白山沼イトヨ等の保存
- 史跡田村山古墳等の保存
- 文化財の調査と整備

埋蔵文化財の調査・保護の充実

- 分布調査の推進

歴史の継承

- 市史編さん事業の推進
- 歴史資料(先人史料含む)の収集、保存

主な指標

指標名	現状値(基準時)	目標値(H28)
会津風雅堂ホール稼働率 (年間・稼働日数/開館日数)	76.6%(H17)	81.0%
文化施設鑑賞・利用者数 (年間・延べ人数)	248,000人(H17)	263,000人

序論

基本構想

基本計画

重点政策

基本政策

福祉健康

教育文化

産業経済

生活環境

都市基盤

協働参画

計画推進

地域別将来展望

附属資料